

# Dell Technologies APEX Multi-Cloud Data Servicesを選ぶ10の主な理由

# 10

データ中心の時代には、マルチクラウドがスタンダードになります。組織はクラウドの俊敏性を求め、それをあらゆる場所で利用することを望みますが、そのことが運用のサイロ化、セキュリティとガバナンスの問題、予測不可能なコストにつながる可能性があります。Dell Technologies APEX Multi-Cloud Data Servicesは、高パフォーマンスで拡張性に優れたデル・テクノロジーズのインフラストラクチャをパブリック クラウドのアプリケーション サービスと組み合わせ、クラウドの経済性を享受しながら複数のクラウド ベンダー利用に伴う複雑さを軽減します。APEX Multi-Cloud Data Servicesは、クラウド接続、ブロック、ファイル、オブジェクト ストレージ、データ保護、ホスティングをマネージド サービスとして提供し、お客様は、必要なときに必要なクラウドを使用できます。

## 1 | パブリック クラウドへの同時アクセスによるマルチクラウドの俊敏性

データには重力（重力）があります。データをクラウド間で移動するには、膨大な時間、リソース、コストがかかります。APEX Multi-Cloud Data Servicesは、単一のボリュームに対してマルチクラウド アクセスを可能にします。これにより、データを実際に移動することなく、複数のクラウドが提供するコンピューティングを同時に活用したり、アプリケーションのニーズに基づいて切り替えたりすることができます。これが、データの重力をゼロにするということです。

## 2 | クラウド ベンダーによるロックインや法外なエグレス料金なし

パブリック クラウドは、ベンダーのロックインと高額な切り替えコストを作り出す可能性があります。APEX Multi-Cloud Data Servicesでは、データをクラウドから独立させることで、自組織によるデータの管理を維持できます。必要なときだけAWS(Amazon Web Services)、Microsoft Azure、Google Cloud、Oracle Cloudのコンピューティング機能を自由に使用でき、データ移行のリスクや高額なエグレス料金を心配する必要はありません。

## 3 | オンプレミスからクラウドまで一貫性のある運用

APEX Multi-Cloud Data Servicesは、選択したパブリック クラウドへのハイ パフォーマンスな接続とネイティブ レプリケーションを使用して、オンプレミスからのデータ移動を可能にする独自の機能を提供します。

## 4 | 成果ベースのマネージド サービス

セカンダリー データ センターのセットアップと保守には高額な費用がかかります。電力、冷却、ネットワーキング、ストレージ、それらを管理するためのスタッフに対して料金を支払う必要があります。シンプルなサブスクリプション ベースの価格設定モデルのAPEX Multi-Cloud Data Servicesをセカンダリー サイトとして活用することで、高額な維持費の負担を軽減できます。

# 10 Dell Technologies APEX Multi-Cloudを選ぶ主な理由 データ サービス

## 5 | マルチクラウドのデータを保護

多くの組織が、サイバー脅威からの保護を強化しながら、事象発生時のリカバリーに必要なインフラストラクチャを削減するために、オフプレミスにデータを置くことを検討しています。APEX Multi-Cloud Data Servicesは、オフプレミスにエアギャップデータウォールトを実装する機能を提供します。このソリューションソフトウェアがホストされるAPEX Multi-Cloud Data Servicesでは、アプリケーションを1つまたは複数のパブリッククラウドにリカバリーすることも可能です。

## 6 | 複雑さのない運用でクラウドの利便性を活用

APEX Multi-Cloud Data Servicesは、パブリッククラウドプロバイダーへのネットワーク接続およびストレージの両方を調達、インストール、運用、保守を行うマネージドサービスです。お客様は、少ないリスクでアップタイムを向上しながら、アプリケーションとデータ保護の成果に集中できます。

## 7 | 最も重要な資産であるデータを組織の管理下に置き続ける

APEX Multi-Cloud Data Servicesを使用すると、データをオフサイトに移動する際の規制およびコンプライアンス要件を満たすことができます。このサービスは、SSAE 16 SOC1およびSOC2、HIPAAなどの認証を受けているため、使用するクラウド環境が、財務や業界固有の管理およびセキュリティ慣行に準拠していることが保証されます。

## 8 | APEX Consoleによるセルフサービス

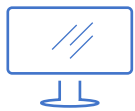
APEX Consoleを使用し、必要に応じてクラウドプロバイダーとの間のクラウド接続とI/Oパフォーマンスの割り当てをセルフサービスで管理できます。APEX Multi-Cloud Data Servicesを使用すると、必要に応じてクラウドコンピューティングとは別にストレージを拡張し、データのニーズに合わせて適切なストレージの種類と容量を選択できます。

## 9 | パブリッククラウドへのシームレスな接続

専用ネットワーク接続を活用して、パブリッククラウドへ高速かつ低レイテンシーな直接接続を行うことで、クラウドへのアクセスを迅速化し、アプリケーションパフォーマンスを向上させることができます。APEX Consoleから、必要に応じてさまざまなクラウドにネットワーク帯域幅を動的に割り当てられます。

## 10 | コスト効率に優れたエンタープライズクラスのクラウド向けストレージ サービス

APEX Multi-Cloud Data Servicesは、パブリッククラウドインフラストラクチャ上で実行されるクラウドベースのソフトウェアアーキテクチャよりも大幅に低いGBあたりの価格で利用しながら、特定用途向けに設計されたオンプレミスストレージプラットフォームのパフォーマンスと拡張性のメリットを活用できます。また、Microsoft Azure接続とOracle Cloudでは、エグレス料金が発生しません。



APEX Multi-Cloud Data Servicesの詳細はこちら



デル・テクノロジーズのエキスパートに問い合わせる



他のリソースを表示



#DellTechAPEXで会話に参加